

平成25年12月16日

各 位

会社名 株式会社シード
代表者 代表取締役社長 浦 壁 昌 広
(コード番号 7743・JASDAQ)
問い合わせ先 取締役管理本部長 鎌田 清
TEL 03-3813-1111 (大代表)

リースによる固定資産の賃借ならびに固定資産の取得に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、鴻巣研究所の生産能力増強と多品種生産対応のため、リースによる固定資産の賃借契約を締結すること、ならびに固定資産の取得について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 取得の理由

当社は、平成25年8月12日付で開示しました「固定資産取得（鴻巣研究所新棟建築）に関するお知らせ」のとおり、現在、鴻巣研究所の敷地内に新棟（2号棟）の建築を行っておりますが、本日開催の取締役会において、当該建物内への製造設備の導入（第1次）を決議いたしましたので、継続案件としてお知らせをするものであります。

主たる製造設備については、資金の効率的運用を図るため、リースにより賃借しますが、それ以外の設備については、自己資金及び金融機関からの借入により取得をいたします。なお、当該設備の導入については、経済産業省「円高・エネルギー制約対策のための先端設等投資促進事業費補助金」に三菱UFJリース株式会社と共同申請し、638.5百万円（最大）の交付が決定されております。

新棟（2号棟）は、月産1,000万枚（1日使い捨てコンタクトレンズ換算）規模の生産能力向上を予定している旨を発表しておりますが、この度の決議においては、第1次として月産500万枚規模の生産能力の向上となります。これにより、既存設備と合わせた生産能力は月産2,500万枚となり、生産能力の増強と多品種少量生産が可能となります。

2. 賃借資産及び取得資産の内容

①リース対象設備の内容

名 称	使い捨てコンタクトレンズの製造設備等（射出成形機他）
取得価格	約2,080百万円（注1）

注1. このうち、補助金が633百万円（最大）交付されますので、当社が負担すべき総額（概算）は、当該金額を控除した約1,447百万円となります。

②取得資産の内容

名 称	使い捨てコンタクトレンズの製造設備等（コンプレッサー、金型加工機器他）
取得価額	約751百万円（注2）

注2. このうち、補助金が5.5百万円（最大）交付されますので、当社が負担すべき総額（概算）は、当該金額を控除した約746百万円となります。

3. 主な補助金対象設備のリースによる賃貸先の概要

(1) 商号	三菱UFJリース(株)	
(2) 本店所在地	東京都千代田区丸の内1-5-1	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 白石 正	
(4) 事業内容	各種物件のリース・割賦販売、各種ファイナンス業務、国際業務	
(5) 資本金の額	33,196百万円	
(6) 設立	1971年4月12日	
(7) 大株主及び持株比率	三菱商事(株)	20.00%
	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	10.40%
(8) 当社と当該会社の関係等	資本関係、人的関係、取引関係はありません。また当社の関連当事者にも該当いたしません。	

(注) 平成25年9月30日現在の状況であります。

4. リースによる賃借取引の日程

取締役会決議 平成25年12月16日
 契約締結 平成26年1月中旬(予定)
 リース(賃借)開始日 平成26年9月上旬(予定)

5. 取得の日程

取締役会決議 平成25年12月16日
 着工日 平成25年12月中旬(予定)
 完成日 平成26年8月より順次稼働し、平成27年3月完成(予定)

6. 鴻巣研究所新棟(2号棟)に関する設備投資計画の総括

建物(取得資産)	約2,452百万円	平成25年8月12日開示分 ※追加設備等があり約1.5億円増加
製造設備(リース資産)	約1,447百万円 ※補助金控除後	本日開示分
製造設備他(取得資産)	約746百万円 ※補助金控除後	本日開示分
合計	約4,645百万円	

7. 今後の見通し

リース(賃借)開始日及び取得資産の稼働日は来期となるため、本件による当期業績に与える影響は軽微であります。今後、業績に重大な影響を与えることが判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上